

「オープンアクセス加速化事業」による OA 支援 (APC 支援)

(Q&A 集)

(改版履歴)

2024.7.23 初版

2025.1.7 第2版(Q.7を修正)

Q1. 支援される APC に上限はあるか？

A. 個々の支援に関して上限はありません。APC の実費を支援します。なお、予算の上限があるため、支援の実施状況(実績)によっては、申請の受付を終了している可能性があります。

Q2. 論文投稿料も支援対象となるか？

A. 支援対象は、APC となります。論文投稿時(査読前)に一定の投稿料を支払い、掲載決定後に APC を支払うタイプのジャーナルの場合、本支援の対象となるのは APC のみです。掲載決定前に支払う投稿料は支援の対象にはなりません。

Q3. エンバーゴ期間あり／なしで、APC の金額が異なる場合、支援対象の制限はあるのか？

A. エンバーゴ期間の有無で APC が異なる場合、いずれを選択した場合でも支援を実施します(低額なプランを選択しなければならないといった制約はありません)。

Q4. 本支援は何度でも申請することが可能か？

A. 条件に合致する場合、何度でも申請することができます。ただし、当初計画の予算をすべて使用した時点で申請を打ち切ることがあります。

Q5. 現在投稿中の論文があり、まだ掲載確定していないが、確定次第、本 APC 支援を受けたい。掲載が確定する前提(掲載が確定しなかった場合は取り下げる前提)で申請してもよいか？

A. 申請できません。掲載が確定した後で申請してください。限られた予算額の中で、掲載が確定したものに順に支援を実施していき、予算上限額を超えた時点で申請を打ち切ることとしていますので、「見込み」での申請はしないでください。

Q6. 即時オープンアクセスではなく、オープンアクセスになるまでに「エンバーゴ期間」がある場合でも支援対象となるか？

A. 支援の対象となります。

Q7. 今年度中に APC の決済をしていれば、掲載（公開）が次年度になっても問題ないか？

A. ~~今年度中に APC の決済が終了していれば問題ありません。ただし、予算の上限があるため、タイミングによっては、申請受付を終了していることがあります。なお、3 月中に決済することが見込まれる場合は事前に研究支援課 (Tel: 0774-65-7752、ji-ksien@mail.doshisha.ac.jp) までご相談ください。~~

掲載（公開）は次年度になっても問題ありませんが、本事業の実績報告の関係上、法人カードの2025年2月利用分までが APC 支援の対象となります。なお、法人カードを利用した後、クレジットカード加盟店からクレジットカード会社に売り上げデータが届くまでにタイムラグがあります。そのため、2月中に利用したつもりでも3月利用分に計上される可能性があります。3月利用分に計上された場合は支援対象外となりますので、事前に出版社に決済日を確認するなど十分ご注意ください。

また、予算の上限があるため、タイミングによっては申請受付を終了していることがあります。あらかじめご了承ください。

Q8. Cite Score percentile の調べ方を教えてほしい。

A. 添付資料を参照願います。

Q9. 2023 年の Cite Score percentile が表示されていない場合、以前の Cite Score percentile (2022 年) が Q1 ジャーナルの要件を満たしていれば、申請可能か？

A. 2023 年の Cite Score percentile が表示されていない場合は、申請できません。支援予定数が 32 件程度と少ないこともあり、公平を期すため、同じ条件で判断させていただきます。

Q10. インパクトファクターの高い雑誌への掲載に対して、同じような支援を実施してほしい。

A. インパクトファクターは、研究分野等によってばらつきが異なり、横並びでの評価が難しいため、Cite Score percentile (相対位置) で判断しています。支援予定数が 32 件程度と少ないこともあり、公平を期すため、同じ条件で判断させていただきます。

Q11. 研究分野や対象となるジャーナルによっては、著者名をアルファベット順に掲載するといったルールに基づく場合がある (キロオーサーペーパーにおいて同様の扱いがなされている事例もある)。このように「筆頭著者」「責任著者」といった概念がない場合 (著者の並び順に特別な意味がない場合)、どのように申請すればよいか？

A. 研究分野や対象となるジャーナルの規定等によって、「筆頭著者」「責任著者」の概念がないケースがある場合でも、本支援では、共通の条件 (「筆頭著者」または「責任著者」) で判断させていただきます。意に沿えない場合があるかもしれませんが、ご了承ください。

Q12. 本支援を受けた論文に対して、「国際学術論文公開奨励研究費」(<https://www.doshisha.ac.jp/rd/news/detail/018-YgLqOD.html>)の申請を実施することはできるか？

A. 本支援による APC によって OA 化された論文は、「国際学術論文公開奨励研究費」の受給は受けられません(重複受給はできません)。「国際学術論文公開奨励研究費」の申請者と本支援の申請者が異なっても(例えば、筆頭著者が本支援に申請し、責任著者が「国際学術論文公開奨励研究費」に申請するなど)、同一の論文に対しては、いずれか一方の支援しか受けることはできません。重複受給が判明した場合は、「国際学術論文公開奨励研究費」を返却していただきます。

なお、同一の申請者が、異なる論文に対して、それぞれ別の支援を申請することはできます(例えば、論文 A は本支援を申請、論文 B は「国際学術論文公開奨励研究費」を申請など)。

Q13. 個人のクレジットカード等で決済することは可能か？

A. できません。「オープンアクセス加速化事業」の精算手続きなど、事務処理の効率化の観点から、法人カードによる決済をお願いしています。なお、APC が高額で、法人カードの「利用限度額」を超える可能性がある場合は、限度額の増枠について部課管理者(学部事務室等)にご相談ください。

Q14. 本支援の申請 form からの申請の前(「支援決定通知」(メール送信)の受領前)に APC の決済を完了してしまった。いまから申請してもよいか？

A. APC の決済日(法人カード利用明細上の「利用日」)が、「オープンアクセス加速化事業」の交付決定日(2024年7月22日)以降であれば、すみやかに申請 form から申請してください。「オープンアクセス加速化事業」の交付決定日より前の場合は、支援を受けることはできません。

なお、申請 form からの受付順に支援を実施していきます(論文の掲載日の古いものから支援するのではなく、申請 form の受付順です)ので、予算の執行状況(支援の実施状況)によっては、支援が受けられない可能性があります。想定通りの支援が受けられない可能性がありますので、できる限り、「支援決定通知」(メール送信)の受領後に APC の決済を行ってください。

Q15. 本 OA 支援(APC 支援)の案内が届く前に、「法人カード」以外の決済手段で APC の支払いを完了してしまった場合、交付決定日(2024年7月22日)以降の APC 決済かつ支援対象の要件を満足する場合であっても、支援の対象とはならないのか？

A. 交付決定日(2024年7月22日)～本案内が出るまでの期間に実施された APC 決済に関しては、個別に対応を実施させていただきます。研究支援課(Tel:0774-65-7752、ji-kisien@mail.doshisha.ac.jp)までご相談ください。

以上

